

外航コンテナの国内フィーダ輸送実績（21年度報告）

平成21年度における外航二次コンテナ輸送量の実態調査結果は以下の通りである。

1. 調査対象会社

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、前回の調査対象会社で輸送実績のあった事業者を中心に、14社に対して調査を実施した。

(1) フィーダ・コンテナ輸送事業者

調査を依頼した14社（20年度13社）の中、輸送実績のあった事業者は13社（19年度13社）であった。

(2) 使用船腹

使用船腹は、貨物船6隻（20年度6隻）、コンテナ船30隻（20年度28隻）、RORO船3隻（20年度3隻）、RORO・コンテナ船1隻（20年度1隻）、フェリー13隻（20年度12隻）、その他3隻（20年度2隻）であり、その内に共同運航が2隻あることから、合計54隻（20年度52隻）となった。

2. 調査結果

調査結果を下記に要約する。なお、詳細については5頁～14頁のとおりである。

(1) 輸送実績

実入コンテナ	350, 524	TEU	（20年度対比 約 8. 9% 減）
空コンテナ	220, 364	TEU	（20年度対比 約 3. 1% 減）
総計	570, 888	TEU	（20年度対比 約 6. 7% 減）

なお、平成13年度以降の輸送実績推移によれば、実入・総計ともに平成19年度までは増加傾向にあるが、平成20年度からは減少傾向に転じている。

(2) 積地・揚地港別輸送量

平成21年度における積地輸送量は、関西（約189千TEU、33. 1%）、関東（110千TEU、19. 2%）、中国（62千TEU、10. 8%）、四国（51千TEU、9. 0%）、中部（48千TEU、8. 4%）、東北（48千TEU、8. 4%）、九州（43千TEU、7. 6%）、北海道（20千TEU、3. 5%）の順であり、揚地輸送量は、関西（約180千TEU、31. 6%）、関東（118千TEU、20. 6%）、中国（68千TEU、11. 8%）、中部（62千TEU、10. 9%）、四国（47千TEU、8. 3%）、東北（45千TEU、7. 9%）、九州（35千TEU、6. 1%）、北海道（16千TEU、2. 7%）の順となった。

また、平成21年度における輸送実績を前年度調査と比較した結果、増加が著しい地域は、積地・揚地ともに北海道（+67. 3%、+63. 3%）であり、減少が著しい地域は、積地では中部（-20. 4%）、中国（-20. 0%）、四国（-13. 8%）、揚地では四国（-19. 1%）、九州（-13. 2%）、中国（-11. 0%）であった。

なお、平成13年度以降の輸送実績の推移からは、近年、積地・揚地ともに、中部

における輸送量の減少が特に著しい。

(3) 地域間流動

平成 21 年度における地域間流動は、関西／中国・四国・九州の間及び関東／中部・東北・北海道の間で多く、総じて過去と同様の傾向にあるが、前年度調査結果との比較では、関東／中部の間は減少し、逆に関西／中部の間は増加した。

また、前年度調査結果と比べて、関東／関西、中国／九州の間は減少が著しく、北海道／関東の間は増加が顕著である。

① 実入、空コンテナ別の地域間流動

実入コンテナの積量は、関西、関東、中国、中部、東北の順で多く、空コンテナの積量は、関西、関東、が多い。

また、実入コンテナの揚量は、関西、関東が多く、空コンテナの揚量は、関西、中国、中部、東北の順で多い。

② 20、40 フィート (ft) 別の地域間流動

20ft コンテナの積量は、関西、中国、四国、関東の順で多く、40ft コンテナの積量は、関西、関東、東北、中部、中国の順に多い。

また、20ft コンテナの揚量は、関西、中国、関東、四国で多く、40ft コンテナの揚量は、関西、関東、中部、中国、東北の順に多い。

なお、相対的に、関西／中国・四国・九州の取扱量は、40ft コンテナと 20ft コンテナの数がほぼ等しく、一方、関東／中部・東北・北海道の取扱量は、40ft コンテナの数が大多数を占める。

内航船による外港コンテナフィード輸送量 平成21年度実績調査

[会社名及び使用船舶一覧表]

会社名	組合名 (略称)	使用船舶		
		船種 ^{※1}	船型	隻数
近海郵船物流(株)	大型	RORO 船	8,349 G/T 型	1
		RORO 船	9,813 G/T 型	1
		一般貨物船	749 G/T 型	1
		一般貨物船	499 G/T 型	1
大王海運(株)	全海運	コンテナ船	499 G/T 型	1
ナラサキスタックス(株)	内輪	コンテナ船	499 G/T 型	2
井本商運(株)	全内船	コンテナ船	749 G/T 型	7
		コンテナ船	748 G/T 型	1
		コンテナ船	499 G/T 型	6
		一般貨物船	499 G/T 型	1 ^{※2}
		コンテナ船	498 G/T 型	2 ^{※2}
		コンテナ船	485 G/T 型	1
マロックス(株)	内輪	コンテナ船	498 G/T 型	2 ^{※2}
鈴与海運(株)	全海運	コンテナ船	499 G/T 型	6
南日本汽船(株)	大型	一般貨物船	749 G/T 型	1
		一般貨物船	499 G/T 型	2
日本通運(株)	大型	RORO 船	10,470 G/T 型	1
		RORO コンテナ船	7,323 G/T 型	1
		コンテナ船	5,818 G/T 型	1
(株)ユニエックス	全海運	その他	548 G/T 型	1
		その他	103 G/T 型	1
四国開発フェリー(株)	フェリー	フェリー	9,975 G/T 型	1
		フェリー	9,917 G/T 型	1
		フェリー	15,732 G/T 型	1
		その他	499 G/T 型	1 ^{※2}
(株)ダイヤモンドフェリー	フェリー	フェリー	9,300 G/T 型	2
		フェリー	11,380 G/T 型	1
		フェリー	11,177 G/T 型	1

会社名	組合名 (略称)	使用船舶		
		船種※1	船型	隻数
阪九フェリー(株)	フェリー	フェリー	14,988 G/T 型	2
		フェリー	15,188 G/T 型	2
		フェリー	13,353 G/T 型	2
横浜コンテナライン (株)		コンテナ船	749 G/T 型	1
合 計				54 隻

注) 「船種」※1 : 一般貨物船 ---- コンテナ及び一般貨物積載
: コンテナ船 ---- コンテナのみ積載する専用船
「隻数」※2 : 共同運航による船舶を含む

集計対象社数	13社
--------	-----

注) 調査依頼 : 14社、有効回答 : 14社 (回答率 : 100%)
(但し、1社からはチャーターに出しており、実績無しとの回答あり)

(参考 : 前回)

集計対象社数	13社
--------	-----

注) 調査依頼 : 13社、有効回答 : 13社 (回答率 : 100%)

内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成21年度実績

[積地別]

積地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,024	6,298	14,620	967	2,285	5,537	2,991	8,583	20,157	3.5%
東北	5,766	16,689	39,144	1,665	3,518	8,701	7,431	20,207	47,845	8.4%
関東	10,359	25,549	61,457	7,593	20,348	48,289	17,952	45,897	109,746	19.2%
中部	4,970	18,702	42,374	2,999	1,423	5,845	7,969	20,125	48,219	8.4%
関西	14,772	33,251	81,274	33,182	37,168	107,518	47,954	70,419	188,792	33.1%
四国	15,188	8,372	31,932	3,580	7,843	19,266	18,768	16,215	51,198	9.0%
中国	19,800	16,793	53,386	2,349	3,019	8,387	22,149	19,812	61,773	10.8%
九州	7,247	9,545	26,337	7,179	4,821	16,821	14,426	14,366	43,158	7.6%

総計	80,126	135,199	350,524	59,514	80,425	220,364	139,640	215,624	570,888	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

北海道：北海道
 東北：青森、岩手、宮城、福島
 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
 中部：静岡、愛知、三重
 関西：大阪、兵庫、和歌山
 四国：香川、愛媛、徳島
 中国：広島、岡山、山口
 九州：福岡、大分、宮崎

[積地港別]

北海道：苫小牧、室蘭
 東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、相馬、宮古
 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、市原
 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、泉北、和歌山
 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
 東予、高松
 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、
 宇野、大竹
 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、
 新門司、油津、八代

内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成21年度実績

[揚地別]

揚地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,515	5,492	13,499	170	975	2,120	2,685	6,467	15,619	2.7%
東北	3,031	9,263	21,557	3,843	9,833	23,509	6,874	19,096	45,066	7.9%
関東	14,717	42,694	100,105	4,344	6,632	17,608	19,061	49,326	117,713	20.6%
中部	3,471	9,735	22,941	3,402	17,863	39,128	6,873	27,598	62,069	10.9%
関西	40,812	44,197	129,206	12,418	19,375	51,168	53,230	63,572	180,374	31.6%
四国	4,480	9,657	23,794	14,134	4,739	23,612	18,614	14,396	47,406	8.3%
中国	5,263	8,217	21,697	16,932	14,509	45,950	22,195	22,726	67,647	11.8%
九州	5,837	5,944	17,725	4,271	6,499	17,269	10,108	12,443	34,994	6.1%

総計	80,126	135,199	350,524	59,514	80,425	220,364	139,640	215,624	570,888	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

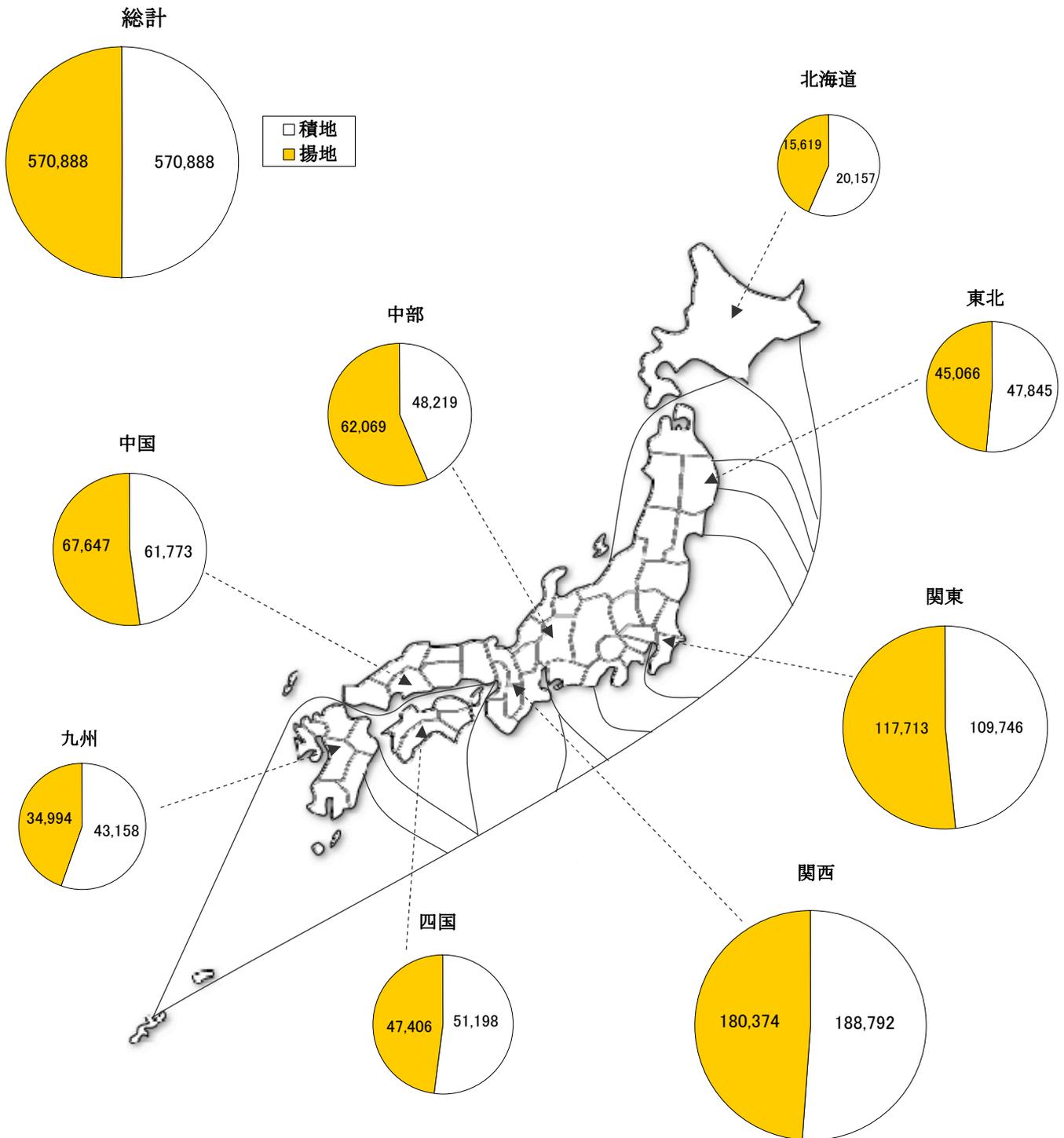
北海道：北海道
 東北：青森、宮城、福島、岩手
 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
 中部：静岡、愛知、三重、福井
 関西：大阪、兵庫、和歌山
 四国：香川、愛媛、徳島
 中国：広島、岡山、山口
 九州：福岡、大分、宮崎、熊本、沖縄

[揚地港別]

北海道：苫小牧、室蘭
 東北：仙台、小名浜、八戸、相馬、釜石、宮古
 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島、市原
 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市、敦賀
 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、和歌山
 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、東予、高松
 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹、呉、宇部、下関
 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、那覇、油津、八代

内航フィーダー網及び輸送量

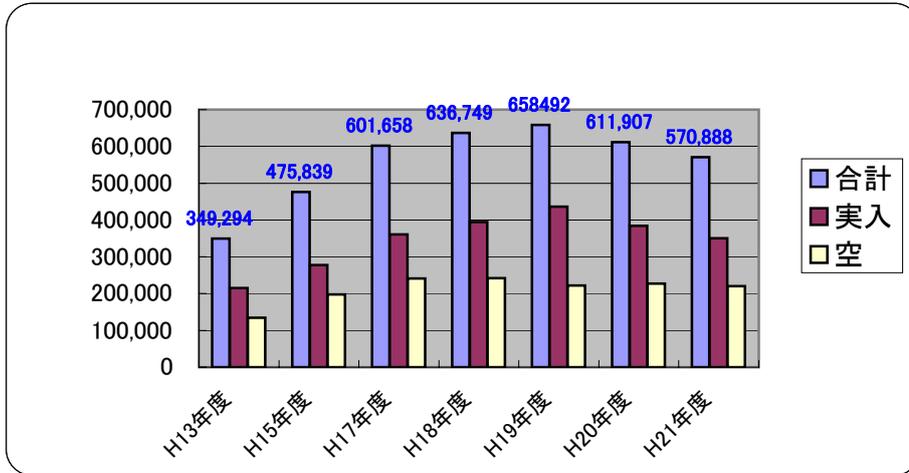
(内航船による外航コンテナ二次輸送量 平成21年度実績)



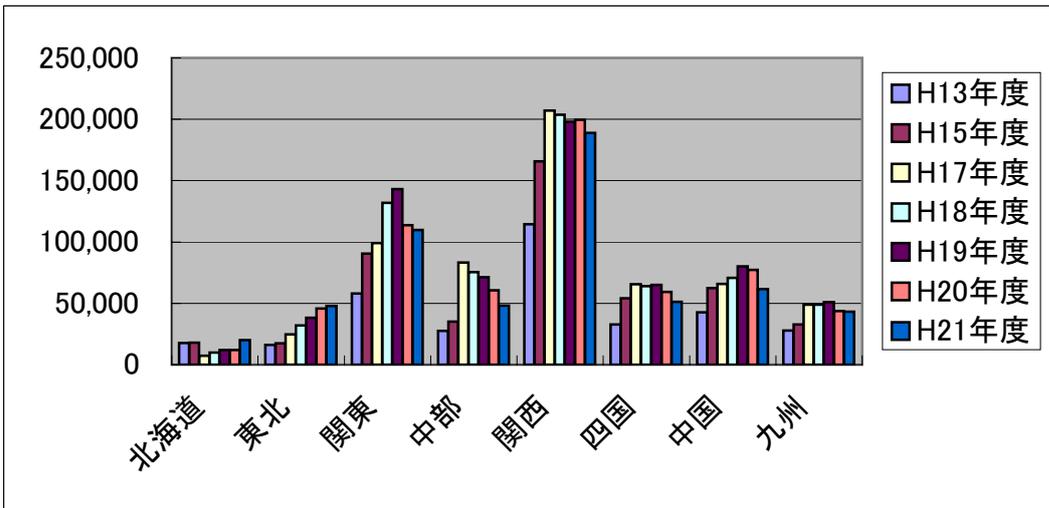
注1. 国内の二次コンテナ輸送のための積・揚総量(through put)は、1,141,776TEUとなる。

注2. 輸送実績は内航船及びフェリー船によるもので、特許により外航船による輸送量は含まれていない。

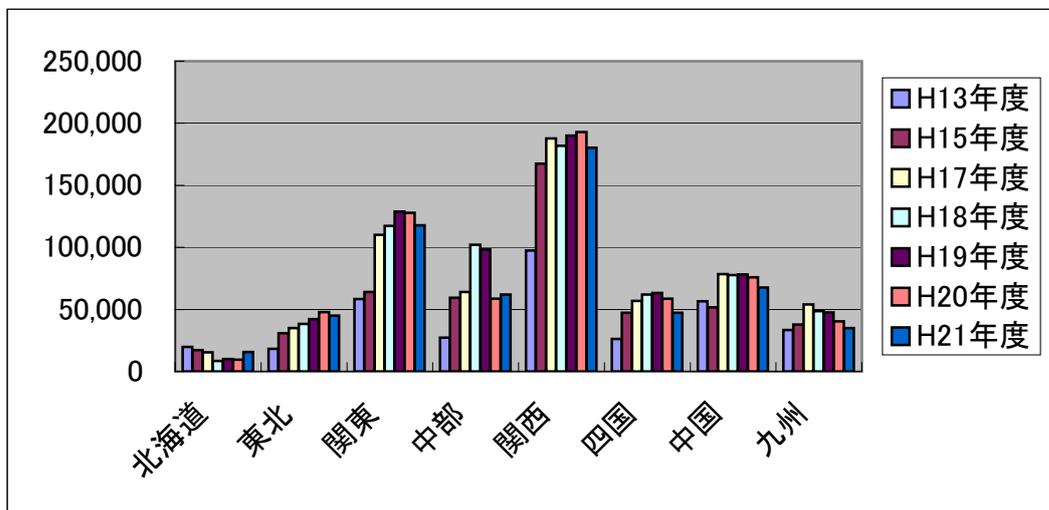
内航船による外航コンテナフィーダ輸送量比較(実績ベース)



積地による年度増減推移

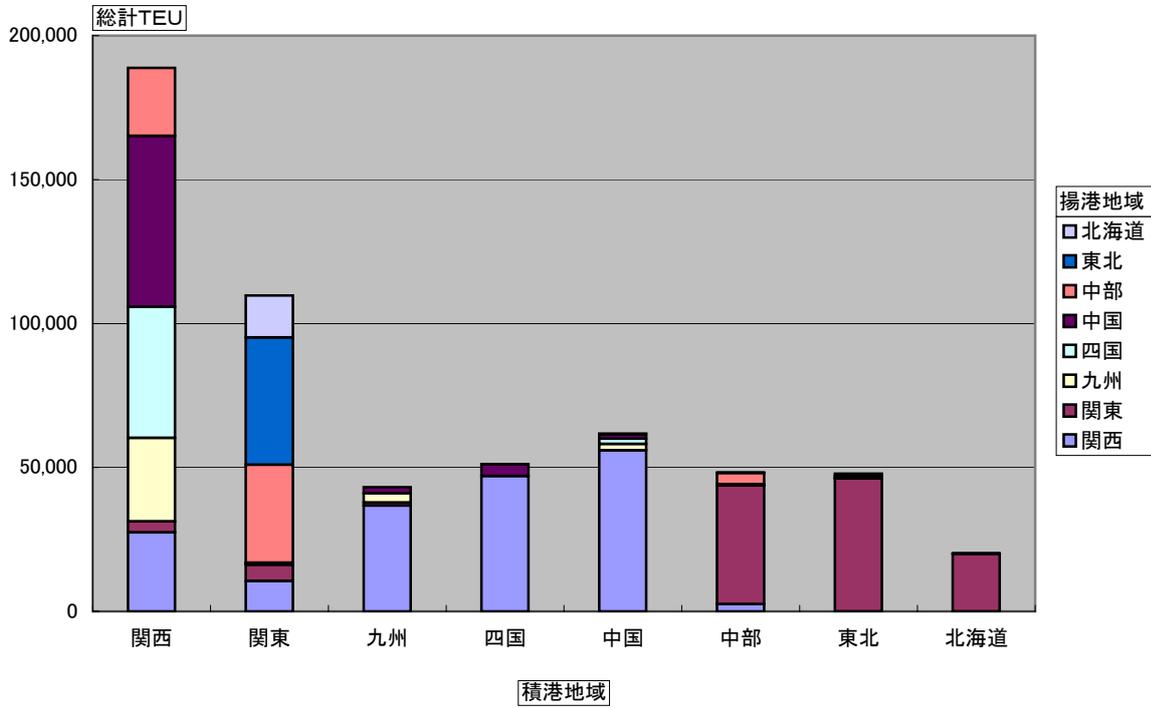


揚地による年度増減推移

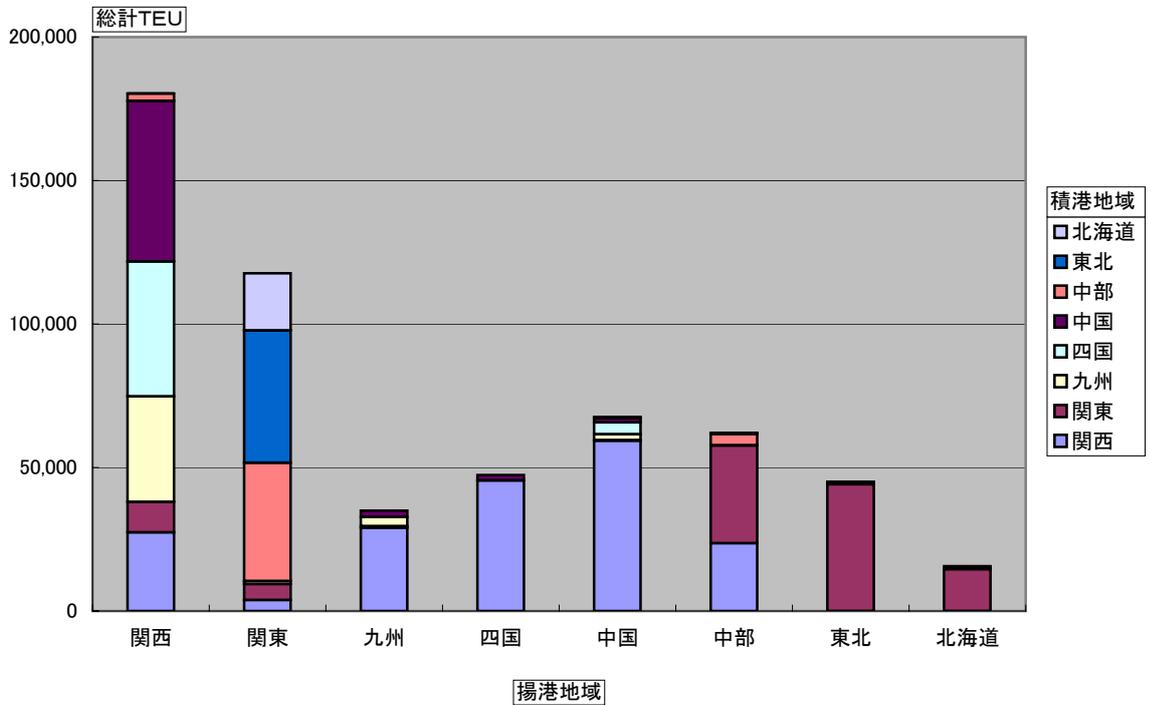


地域間流動比較(総計TEU)

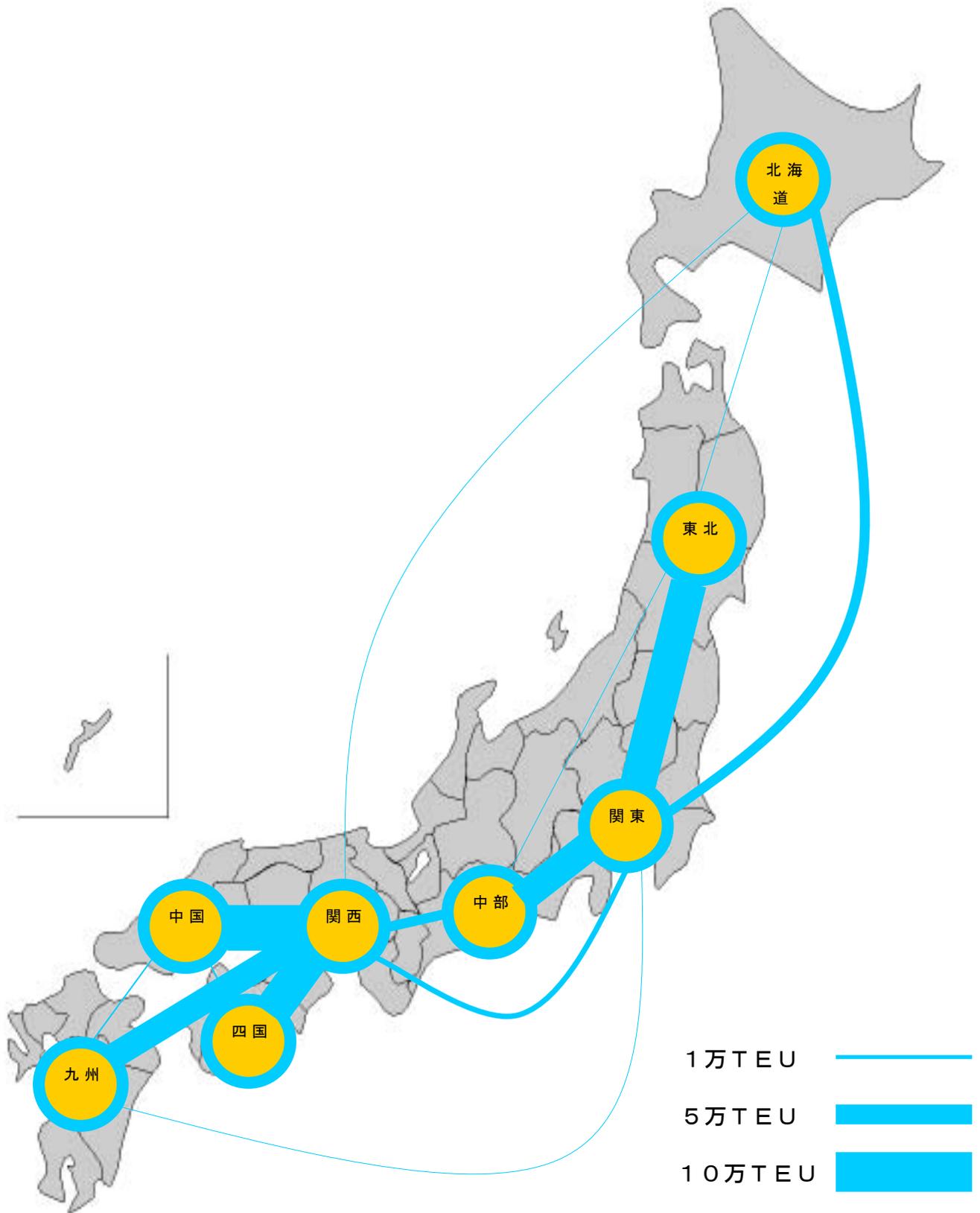
1. 積港地域別流動比較



2. 揚港地域別流動比較



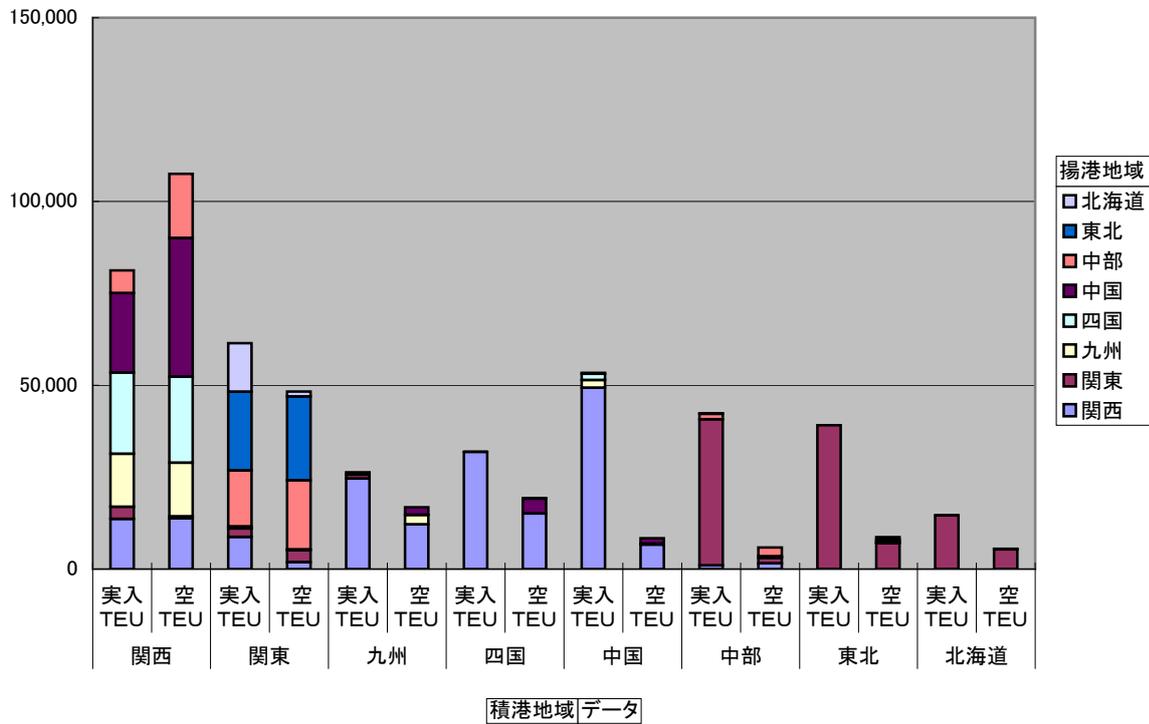
内航フィーダコンテナの主な地域間流動（平成21年度）



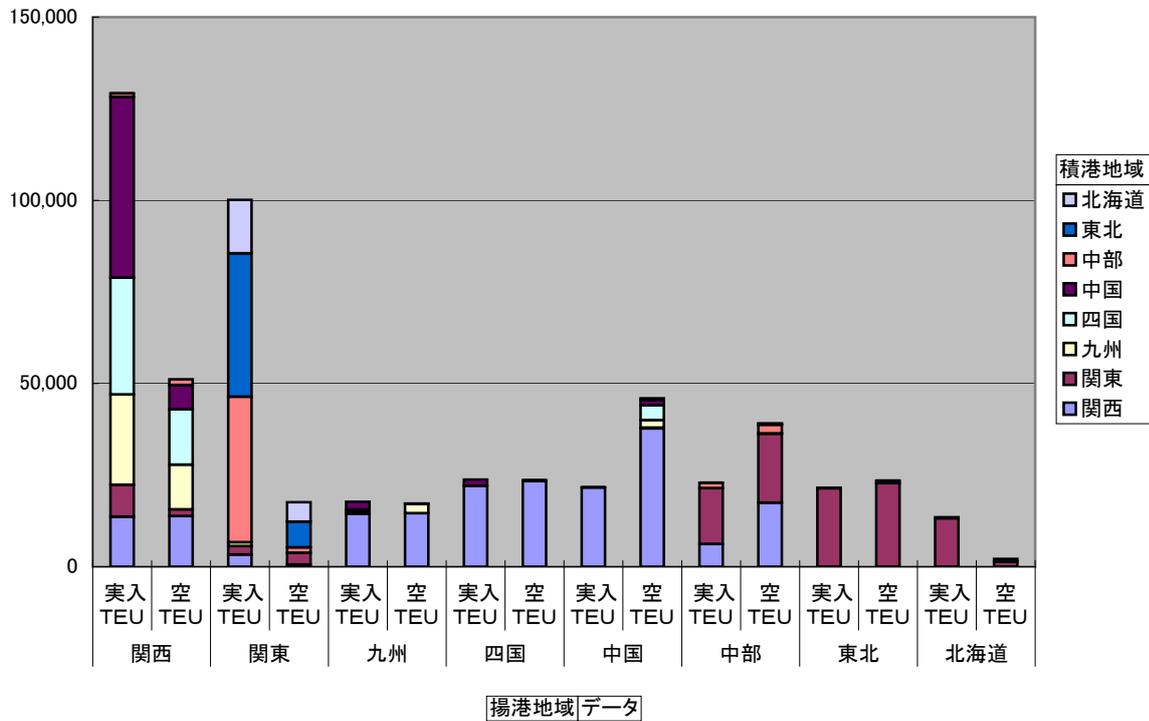
(実入り・空コンテナを含む年間の輸送量)

地域間流動比較(実入、空TEU)

1. 積港地域別流動比較

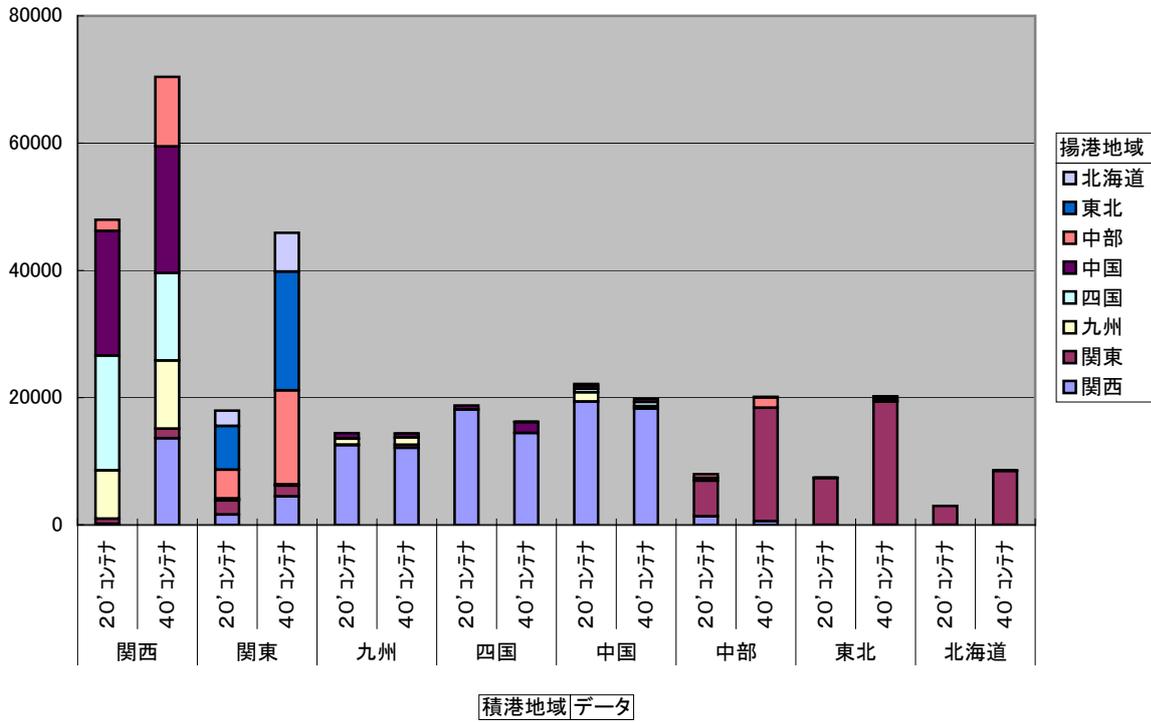


2. 揚港地域別流動比較



地域間流動比較(20'、40'コンテナ)

1. 積港地域別流動比較



2. 揚港地域別流動比較

